

緩和ケア・医療をとおして

Well-being

を考える

3/1 Sat. 14:30~17:00

◆先着30名(参加対象者:主に学生, 社会人も可) 参加費300円(お菓子・飲料付き)

Creator's Distirct cue702

(東京/渋谷) レンタルスペース靴屋箱機構

アクセス：http://www.koujiyahakokikou.com/2010/09/creator-district-cue702_10.html?m=1

※渋谷駅から徒歩5分

◆参加申し込み方法◆

以下のURLからのお申込みか、

https://docs.google.com/forms/d/1pzHT_7DlCk3C-3Vh-u2HZ-WTE6AL-VEgYAE818HZvgl/viewform

または、以下のアドレス先に氏名・ご所属・ご連絡先をご記入の上お送りください。

yabm1123@yahoo.co.jp



主催：Social Network for Challenging Poverty (SNCP) 代表:有賀 優
共催：帝京大学がんプロフェSSIONナル養成基盤推進プラン, サイエンスカフェ

講師の紹介

◆有賀悦子（アルガエツコ）◆

1987年筑波大学医学部卒業後、東京女子医科大学病院腎臓外科。93年、米ミシガン大学腫瘍外科にてがん遺伝子・免疫療法の研究とともに在宅緩和ケア研修。96年国立がんセンター東病院緩和ケア病棟（カナダアルバータ大学短期研修）、99年都立豊島病院緩和ケア科後、東京女子医科大学在宅医療・緩和医療学講師。2003年国立国際医療センター緩和ケア科医長、2008年帝京大学医学部内科学講座（緩和ケア内科）准教授、教授を経て、2013年帝京大学 医学部緩和医療学講座（緩和ケア内科）教授・診療科長として、現在に至る。

PROGRAM

14:30 開会、イベントの趣旨説明

14:35 プレゼンテーション

帝京大学 医学部緩和医療学講座（緩和ケア内科）
有賀悦子教授

15:15 質疑応答

<10分休憩>

15:30

ワークショップ「私のNext Challenge」

16:55 アンケート用紙の記入

17:00 閉会

緩和ケア・医療とは、

生命を脅かすような疾患による問題に直面する患者さんとその家族に対して、彼らがもつ身体的、心理的問題に対して的確な対応をしていくことで **QOL（Quality of Life）** を改善していくアプローチです。がん治療に向き合う患者さんの苦痛を和らげながら、自己の人生を肯定的に生きることができるよう、共に考え、伴走し、支援していきます。

現在、エイズやマラリアといった感染症、貧困、経済危機による就職難、人種差別、自殺問題等様々な課題が生じている社会では、人間が心身ともに健康で、幸福な生活を営んでいくための **‘Well-being’ の増進** が課題となっています。

本講演では、緩和ケアの最先端で活躍するプレゼンターの医療人としての経験や患者さんとの出会いを通して、現代社会の中におけるささやかな幸せ、自分がよりよく生きていくとはどういうことなのか、再考する **きっかけ作り** を目指します。

What is Social Network for Challenging Poverty (SNCP) ?

本ネットワークは、大学生主体で運営されている有志の国際協力活動コミュニティです。国際協力に関心がある人たちを繋ぎ、ネットワークを広げることが主な目的とし、設立しました。

良い相互作用が生まれ（協同性、社会性）、楽しく（交流会、イベントの開催、参加など）、そして働く場り合える勉強会や外部セミナーを定期的に行い、学生ネットワークを築くことを目指しています。

If you wanna make the world a better place, take a look at yourself, and then make a change

‘Man in the mirror’ by Michael Jackson

